

あなたがいて、わたし、がある。

# ゆうあい

6

JUNE 2022  
vol.561



特集 2022 新任職員紹介

6月号 令和4年6月1日発行  
発行日: 隔月1日 / 発行所: 大塚公学 / 発行所: 社会福祉法人侑愛会(北海道北斗市道分7丁目8番9号)



<https://www.yuai.jp/>  
社会福祉法人侑愛会



社会福祉法人侑愛会  
学校法人ゆうあい学園  
[www.yuai.jp](http://www.yuai.jp)

## クラスターを経験して～新生園～



日付: 5月19日(木)  
場所: オンライン(今般の状況を鑑みて現場取材を断念)  
話し手: 折目園長、東課長、玉野課長補佐、十文字課長補佐、他3名  
聞き手: ゆうあい編集委員(松田、東口)

新生園では、今年2月1日に利用者で初めての陽性者が確認されてから3月5日に収束するまでのあいだ、利用者21名、職員17名、あわせて38名もの感染者が発生するクラスターが発生しました。ゆうあいを経験する初めての施設内クラスター事案。職員の方たちは、自身も感染の危険に晒されながらも、PPE(個人防護具)を身につけながら果敢に毎日の支援に臨みました。新生園は、いかにしてこの難しい局面を乗り越えることができたのか。この経験を今後の教訓にさせてもらうために、座談会形式でインタビューをして記事にすることにいたしました。

## 施設の概要

名称: 新生園  
種別: 障害者支援施設  
定員: 80名(平均年齢53歳)  
発生: クラスターが発生したのは、D棟の4寮と5寮。写真右下の建物。



## 感染発生時を振り返る(話し手の内容から)

1月後半に明生園で陽性者が出てから感染が身近に迫っているという危機感があって可能な準備や対策はしていましたが、、発熱者の検査結果が陰性であることを祈るような思いで待っていました。陽性でも病院には入院できず帰宅することが分かって、すぐにゾーニング(清潔区域と汚染区域の区分け)、利用者の方たちの体調確認などをしました。感染の経路は結局分からずじまいでしたが、職員が持ち込んだ可能性が高いと思われます。最初の二人だけに留まっていたらいいの願ひも空しく、翌日には一気に広がってショックは大きかったです。他の寮との往来により、自分を介して拡げないか不安がありました。それでも、発生直後から多くの作業(各種感染対策、利用者支援、職員フォロー、保健所や行政対応など)が必要とされ、不安に怯える暇はありませんでした。拡がりを最小限に食い止めたいと思いつつ、集団生活の場であるため拡がりは避けられないのではないかという恐怖感が入り乱れていました。

## 職員体制や宿泊場所の確保などについて(話し手の内容から)

次から次へと職員が陽性になっていくので、発生後しばらくの間は、職員体制の確保が一番の課題でした。それでも、レッドゾーン勤務を拒否する職員はなく、本当にありがたかったです。初日は、誰が感染しているか分からないまま職員の多くは遅くまで勤務したあと、当別の宿泊場所などに泊まってもらいました。その後も、家族への感染不安から帰宅を望まない職員について法人全体でサポート(宿泊場所の調整や食事の手配など)してくれて本当に心強かったです。新生園だけでは絶対に乗り切れることは出来なかったと思います。

## 利用者の方々への支援、保護者への理解などについて(話し手の内容から)

日中活動もなく、職員もPPEを装着して物々しい姿で支援するため、大きなストレスを与えてしまっただけで本当に心苦しかったです。それでも、利用者の方々は何となく状況を察してくれて、一緒によく耐えてくれました。重症化する方もいなかったのは幸いでした。ご家族の方々もたくさんの不安があるでしょうに優しい労いの言葉をかけてくれたり、「頑張って」と言ってくれて救われる思いとなりました。

## 今回の経験を通して感じたこと、伝えたいこと(折目園長)

- 基本的感染対策(マスク着用、三密を避けるなど)の徹底。徹底しても感染を完全に防ぐことは出来なかもしれないが、後悔しないように平時よりしっかりした対策に努めること。
- 不安に感じる利用者の方々や職員をしっかりとフォローしてあげること。
- 感染は持ち込まれたら一気に拡がるので、普段からのシミュレーションや役割分担の明確化などが大切。
- 収束への見通しが持てないなかで、職員同士励まし合うことや情報共有、コミュニケーションをしっかりと行なうことが大切。
- 濃厚接触者にならない。濃厚接触者にさせない。感染が分かたら速やかな隔離。
- ご家族には、平時から園での生活を細かく丁寧に伝えておくことが大切。
- ゆうあいの伝統である機能共同体、共助の精神をまぎまぎと感じた。感謝。

## インタビューを通して(委員からの感想)

リアルなお話を聞いて、非常に勉強になりました。私たちの園でもいつ感染が発生するかもしれませんが、今日のお話を持ち帰って普段から出来ることを積み重ねていきたいという思いです。ありがとうございました。

## クラスターの経過

- 2月1日～3日  
4寮の利用者2名に陽性が判明。翌日には利用者8名と職員7名の陽性が判明。クラスター事案となる。3日間で感染者は19名まで増える。
- 2月4日～9日  
利用者と職員合わせて10名の陽性が判明。
- 2月中旬～後半  
最終的な感染者数は利用者21名、職員17名となる。
- 3月5日  
健康観察期間終了、収束。



社会福祉法人侑愛会  
学校法人ゆうあい学園  
www.yuai.jp

2022

# 新任職員紹介

今年度4月1日に入職された新任職員のみなさんに「仕事で大事にしていること」について書いていただきその理由についてもお聞きしました。



人と関わる仕事のなかで、コミュニケーションを取るものとして最も大切だと思うからです。

明生園

三上 真優

Mikami Mayu



円滑な意思疎通や記憶定着のため、メモを大事にしています。

ばすてる

池田 美月

Ikeda Mizuki



考え実行することを何度も繰り返し、利用者のニーズに応えるため。

ワークショップはこだて

小林 拳斗

Kobayashi Kento



毎日新しい発見を見つけ、学び続ける意欲を持って働きたいから。

つくしんぼ学級

菊川 裕希

Kikukawa Yuki

子どもたちと一緒に一歩ずつ成長していきたいから。

失敗を恐れず、様々な提案やかわりを大切にしたいと思ったため。

何事も真面目に、誠実に取り組むことが家訓です。



利用者と真摯に向き合い、明るく笑顔で接する。

新生園

笠井 陽太

Kasai Yota



福祉の仕事は初めてで学ぶことが多いから向上心を常に持つ。

新生園

西ケ花 愛海

Nishigahana Aika

高校生のころ部活動のモットーだった言葉を今も大切にしています。



七重浜こども園

木下 瑠望

Kinoshita Tamami



七重浜こども園

星加 世衣良

Hashika Seira



本部事務所

相澤 翔

Aizawa Sho

安心安全な支援を行い、安心して仕事を任せられる支援員になる。

人と人の繋がりでみなさんが笑顔になれるよう心がけています。



侑愛荘

川村 優人

Kawamura Yuto



ねお・はろう

奥野 真伍

Okuno Shingo



おしま学園

遠藤 恭輔

Endo Kyosuke

利用者の方々に、笑顔で安心して過ごしてもらいたいからです。



函館青年寮

本庄 彩夏

Honjo Ayaka



侑ハウス

菊地 謙一

Kikuchi Kenichi

利用者の方と一緒に笑顔で過ごすことです。

マスク越しでもわかるとびぎり笑顔で、日々頑張りたいと思います！

知識と経験は自信を与えてくれるので関心を持ち学び続けたい。



星が丘寮

伊藤 莉沙

Ito Riso



星が丘寮

高村 優

Takamura Yu

先輩職員の親切で丁寧な対応に感銘を受けたため。

子ども達と一緒に、毎日楽しみながら一生懸命取り組みます！



浜分こども園

尾形 鈴奈

Ogata Suzune

仕事は自分一人では務まらない為、周りへの配慮を心掛けていきます！



浜分こども園

東出 穂香

Higashide Honoka



浜分こども園

日下 瑞姫

Kusaka Mizuki



社会福祉法人侑愛会  
学校法人ゆうあい学園  
[www.yuai.jp](http://www.yuai.jp)



社会福祉法人侑愛会  
学校法人ゆうあい学園  
[www.yuai.jp](http://www.yuai.jp)